

Let's Smile and Say "Hello"

～笑顔でひと声かけよう～

サンプラザ

第 71 号
平成29年4月10日発行

心配な動悸と、心配無用な動悸

循環器内科部長 大坪光典

講演会報告

平成28年当院における手術実績

感染勉強会を実施しました

医療のげんば紹介【診療放射線技師編】

核医学診断装置(SPECT)の新規導入について

金博士の『本音で語ろう』"本人・家族 そして地区"

総合診療科 金有世

お知らせ「4月1日より新しい医師が着任しました」

スキー・スノーボードツアーオー開催

レクリエーション係 上林勝利

病院案内

医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院

心配な動悸と、 心配無用な動悸

循環器内科部長 大坪 光典



外来で診察していると、動悸のために病院を訪れる人には大きく分けて3つのパターンがあることに気付かされます。それは①脈拍に問題は無いものの拍動感を強く感じている動悸、②精神的な動悸、③不整脈による動悸、です。

まず①ですが、これは血圧が高い場合に多く見られます。心臓や脈の打ち方には問題無いのですが、血圧が高いためにドックンドックンという拍動感を強く感じている状態です。これは心臓の治療をするというよりも、場合によっては血圧の治療が必要になるかも知れません。

次に②は気持ちの問題で、体の問題ではありません。大抵は不安感が強かったり心労が重なったりした時に起こります。このパターンの動悸は心配する必要が無いのですが、安定剤が必要な人もいます。

治療の対象になり得るのは③の動悸ですが、少しでも不整脈があれば直ちに大変な状態かと言うと、必ずしもそうではありません。人間の心臓は24時間のうちに10万回前後動きますが、中には“気まぐれな脈の乱れ＝不整脈”が混じっています。これは誰にでも起こっていることです。肝心なのは“マズイ不整脈”なのかどうか、ということです。私はよく患者さんに「生理的な不整脈」と「病的な不整脈」がある

と説明しています（あくまで私見なので、こんな表現をすると不整脈の専門家にお叱りを受けるかも知れませんが…）。ホルター心電図（通称24時間心電図）などで検査をして「生理的な不整脈」だった場合は、そもそも心配無用なので様子をみます。「病的な不整脈」の場合には治療が必要な不整脈が含まれています。不整脈（動悸）→血圧が下がる→目の前が暗くなる・気絶する、といったことが起きれば“マズイ状況”なので何らかの治療が必要です。それ以外であれば危険な状況ではありませんが、ドキドキと脈が早い状態が数分～数時間続くようなら、やはり治療が必要になります。このような不整脈の例を一つ挙げると、心房細動という不整脈があります。心房細動では脈が一定しないので心臓の中で血液がよどんでしまい、血栓という血液の塊が出来やすい状態になります。運が悪ければ血栓が脳血管に詰まってしまい脳梗塞を合併することがありますので、治療が必要になります。

ドキドキと動悸がした時には、目の前が暗くなったり気分が悪くなったりしないかを自分でしっかりと把握して下さい。そして手首の脈を触れることが出来るようなら、トントントンという一定の調子なのか、バラバラな脈の打ち方なのかを調べてみて下さい。さらに余裕がある方は時計を見ながら1分間に脈が何回触れるかを数えてみて下さい。これらのこと自分で把握出来ていれば、病院で診察を受ける際に、医師側もおおよその見当を付けることが出来るので早目の対処が可能になると思います。自分の脈を取ることは決して難しいことではないので、“動悸”を感じた時には慌てずに、どんな脈なのかな？ということを調べてみてはどうでしょうか。



講演会報告

地域健康教室（講演会）

3月14日（火）14時より、札幌市医師会厚別区支部・厚別区保健福祉部主催にて、厚別保健センターを会場に、地域健康教室（講演会）が開催されました。

この講演会では、神吉 和重 院長が「不整脈とは」をテーマに、1時間30分にわたり講演をさせていただきました。



当日は、講演会場が満席となる85名の方々が来場され、脈の測り方やクイズコーナーなど、みなさんにご参加いただきながら、真剣な場面あり、笑いが起きる場面ありと、楽しみながら聴講していただき、充実した地域健康教室になったと思います。



医療講演会

3月11日（土）15時より、平岡フォレストタウンファミールハイツ8番館集会室において開催されました。

「第2回 医療講演会」にて神吉和重院長が「動悸・息切れ・めまい～不整脈の話～」をテーマに、講演をさせていただきました。

当日は、住民の方17名にお越しいただき、終始和やかな雰囲気のなか、1時間の講演を終えました。



出張医療講演会受付中

町内会、老人クラブなどの医療講演会や医療相談などを無償で実施しております。
テーマは、不整脈や高血圧などの循環器疾患や静脈瘤について。
厚別区・清田区・白石区・江別市・北広島市など（その他のエリアも可能です）。
まずはお気軽にご相談下さい。

事務部総務課まで（TEL011-892-1558）

平成28年 当院における手術実績

(平成28年1月～12月)

冠動脈・大動脈バイパス移植術	15例	
心臓弁膜症手術	18例	
胸部大動脈手術（うちステントグラフト内挿術）	18例	(8例)
その他の開心術	1例	
腹部大動脈手術（うちステントグラフト内挿術）	35例	(21例)
末梢血管バイパス術	3例	
PTA・ステント	70例	
経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術	222例	
ペースメーカー植込術	81例	
ペースメーカー電池交換術	35例	
下肢静脈瘤手術	97例	
その他	105例	
合 計	700例	



感染勉強会を実施しました



1月20日（金）に院内感染対策研修として「感染が疑われる場合の嘔吐処理（ノロウィルス）」をテーマに勉強会を行いました。

当日は職員68名が出席し、第一三共株式会社様を講師に迎え、動画視聴を交えながら、約30分にわたり講義をしていただきました。

最後に各自がアンケートを記載し、勉強会を終えましたが、

今回の勉強会は看護師だけ

ではなく、院内の様々な部署の職員が参加し、正しい嘔吐処理を理解することができました。

今後はさらに迅速で確実な対応を行うことが可能となり、大変充実した勉強会になったと思います。

このような勉強会を継続していき、職員全体の知識が向上するよう、努めてまいります。



医療のけんば紹介

[診療放射線技師 編]

第4回目は、みなさんが実際に接する機会も多い「診療放射線技師」の仕事をご紹介いたします。

Q：「診療放射線技師」とは、どのような仕事ですか？

A：よく「放射線技師さん」と呼ばれることが多い私たちですが、正式な名称は「診療放射線技師」といいます。
医師から依頼されたオーダーに基づいて、放射線診断機器を利用し、患者様の医療画像を提供しています。

Q：当院での業務内容を教えてください。

A：おもに胸部レントゲン検査、CT検査、心臓カテーテル検査、核医学診断検査を、4人の放射線技師で行っています。

＜放射線検査についての疑問や不安について

診療放射線技師よりみなさまへ>

放射線の検査は、専門の診療放射線技師により、安全・安心に撮影を行なっておりますが、撮影に対してのご不明な点や、不安になってしまった時などがございましたら、遠慮なさらず、お気軽にご相談ください。



核医学診断装置(SPECT)の 新規導入について



当院では、平成28年10月6日より新しい核医学診断装置(SPECT)を稼働しております。

これまでの装置は、印画紙とフィルムによる診断でしたが、新しい装置では、レントゲン写真・CT画像と同様、パソコンモニターで診断を行います。また、検査方法や時間は以前と変わりありませんが、最新の心筋解析ソフトを利用することが可能となりました。これにより、一段と診断能力が向上したことで、心臓疾患の診断や、治療方針を決定するうえで、大変有用な検査の1つとなっています。



金 博士の

『本音で語ろう』⑯

“本人・家族 そして地区”



100才に手が届くおばあちゃんのお話です。

持病をお持ちとはいっても、娘があきれるくらい何でも自分でやってきた方です。トイレに行く途中で倒れても施設に入ろうとせず、ずっと寄り添ってきた娘も、持ちこたえることができなくなりました。お孫さんが協力してくれることとなり、おばあちゃんの地区的保健婦さんにも関わっていたとき、ご自宅に訪問して診てくれる、地区的医者を探すところまでこぎつけました。

一方で、おばあちゃんの病態も限界に近づき、当院に入院することになりました。入院後は、安心されたせいかずっと眠りつづけた状態がつづき、各専門医もおばあちゃんの尊厳を守る治療に専念しました。まもなくご自分の人生を終えられましたが、安らかに旅立っていただけたようです。

今は娘さんに一言差しあげたいです。“長い間、ご苦労様でした”。お孫さんにも一言“おばあちゃんのお世話をしてくれて、ありがとう。おばあちゃん、喜んでたよ”。また、協力体制を敷いてくださったおばあちゃんの地区的医療関係者の方々には、深く感謝しております。お孫さんを含む家族や、協力を惜しまない地域社会があってこそ、医療従事者も心の通った温かい医療ができる事を、身を持って教えてくれたのは“おばあちゃん”です。

おばあちゃん、有難うございました。一合掌。

総合診療科 金 有世

お 知 ら せ

「4月1日より 新しい医師が着任しました」

循環器内科医長

な わ て さ と し

縄 手 聰 医 師

日本循環器学会専門医
日本内科学会総合内科専門医
医学博士



※ 外来担当医診療予定表が一部変更となりましたので、ご注意ください。
広報誌裏面に掲載しておりますので、ご確認ください。

スキー・スノーボードツアー開催

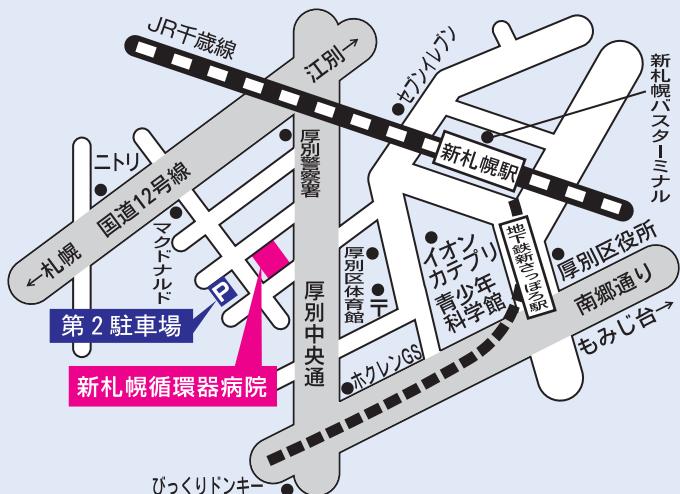


レクリエーション係 上林 勝利

1月28日（土）～29日（日）に、大人20名、子供7名が参加し、今シーズン1回目となるスキー・スノーボードツアーで、旭川カムイスキーリンクスに行ってきました。28日は、残念ながら大荒れの天気となりましたが、旭川アートホテルに宿泊しての懇親会では大いに盛り上がり、29日は最高のスキー・スノーボード日和で、みな大変満足できたツアーとなりました。

また、2月25日（土）～26日（日）には、歌志内のかもい岳スキー場で2回目のツアーを開催し、かもい岳温泉に宿泊しました。このスキー場は雪質も良く、初級者から上級者までがそれぞれのペースで楽しめるコースがあり、それでいて混雑していない、最高のスキー場でした。大人15名、子供3名が参加し、2日間楽しみました。

病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号 TEL 011-892-1556

■ 地下鉄（5番出口）・JR・バスター・ミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後2:00～午後8:00／土日祝 午前11:00～午後8:00



お車で
ご来院の
患者様へ

病院横駐車場（18台）／ 第2駐車場（18台）

コナミスポーツ立体駐車場につきましては、割引（無料）
利用はできませんのでご注意下さい。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。<http://www.sshoc.jp>

編集・発行／医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院 広報委員会 責任者／馬場政美 顧問／金有世

外来診療体制 変更のお知らせ

<4月1日より>

	月		火			水			木			金			土	
	予約制	予約制		予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		
午前	佐々木	山田	清水	繩手	馬場	総合診療	北大 納谷	神吉	大坪	繩手	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田	医師交代制
午後	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪	腎臓内科 総合内科	2:00~	北大 納谷	馬場	消化器科	佐々木	山田	藤井	清水	佐藤	腎臓内科 総合内科 第1~5週 2:00~

<5月1日より>

	月		火			水			木			金			土	
	予約制	予約制		予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		
午前	佐々木	山田	清水	繩手	馬場	総合診療	北大 納谷	神吉	大坪	繩手	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田	医師交代制
午後	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪	腎臓内科 総合内科	2:00~	北大 納谷	馬場	繩手	佐々木	山田	藤井	清水	佐藤	腎臓内科 総合内科 第1~5週 2:00~

診療受付時間

診療科目

平 日	午前 8:45 ~ 11:30
	午後 1:30 ~ 4:30
土曜日	午前 8:45 ~ 11:30

心臓血管外科 人工透析内科

循環器内科 胸部外科

*新患受付時間 午前 8:45~11:00
午後 1:30~ 3:30

腎臓内科 リハビリテーション科

*土曜日は午前のみの診療となります。

*循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。